

ID	
氏名	
生年月日	
年齢	性別
科名	病棟

FOLFIRI+Aflibercept療法			
ポート			
2週毎			
疾患名	大腸癌		
T	N	M	Stage

主治医 _____

指導医 _____

(身長 cm・体重 kg) 体表面積 m²

スケジュール HBs抗原 (+ -) HBe抗体 (+ -) HCV抗体 (+ -)

《注射》		Day1	Day2	Day14
ザルトラップ(アフリベルセプト)	4mg/kg	↓		
イリノテカン	150mg/m ²	↓		
レボホリナート	200mg/m ²	↓		
フルオロウラシル ワンショット	400mg/m ²	↓		
フルオロウラシル 持続	2400mg/m ² /46hr	↓	… →	

イリノテカン

- ・投与前に腹痛、下痢の有無を確認する。早発性(投与中～投与直後)、遅発性(投与24hr以降)の下痢が頻発する。
- ・必要時、投与前日から半夏瀉心湯を開始する。

ザルトラップ

- ・投与前に血圧を測定する。収縮期 ≥ 160 or 拡張期 ≥ 100 を超える場合は主治医に確認する。
- ・出血傾向、血栓有無を確認する。
- ・0.22 μ m以下のインラインフィルターを使用すること。

Day1

				投与ルート	
①	アプレピタントカプセル125mg 1C	内服	抗がん剤投与30分前		
②	生食500ml	DIV	血管確保(20ml/h)	メイン	
③	パロノセトロン0.75mg/50ml 1V デキサート1.65mg 3A	DIV	30分	側管	
④	ザルトラップ()mg 生食100ml	DIV	60分	側管	
⑤	イリノテカン()mg 5%ブドウ糖液250ml	DIV	120分	側管	同時滴下
⑥	レボホリナート()mg 5%ブドウ糖液250ml	DIV		側管	
⑦	フルオロウラシル()mg 生食50ml	DIV	15分	側管	
終了後メインの生食でルート内フラッシュ					
⑧	フルオロウラシル()mg フルオロウラシルと合わせて生食を全量100ml	DIV	シユアーフューザーポンプ 46時間	側管	持続注射

Day2

				投与ルート	↓
①	アプレピタントカプセル80mg 1C	内服			
②	デカドロン錠0.5mg 8T 2×朝・昼	内服			

Day3

				投与ルート
①	アプレピタントカプセル80mg 1C	内服		
②	デカドロン錠0.5mg 8T 2×朝・昼	内服		